

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第23週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：E 型肝炎 1 例。5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	日向	30歳代	女	無症状病原体保有者	—
			30歳代	女	無症状病原体保有者	—
			50歳代	女	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日南	40歳代	女	無症状病原体保有者	O91(VT1)
4類	E型肝炎	日向	70歳代	男	—	発熱、黄疸、肝機能異常、肝腫大

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 317 人(定点当たり 8.8)で、前週比 112%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘であった。

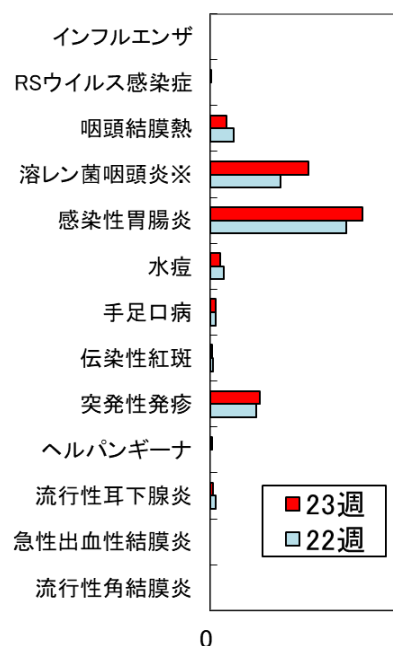
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 92 人(2.6)で、前週比 139%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (3.2)の約 0.8 倍であった。宮崎市(5.2)、高鍋(3.3)、日南(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は4～7 歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 142 人(3.9)で、前週比 112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (8.8)の約 0.5 倍であった。小林(8.7)、中央(7.0)、日南(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6 ヶ月～2 歳が全体の約 3 割を占めた。

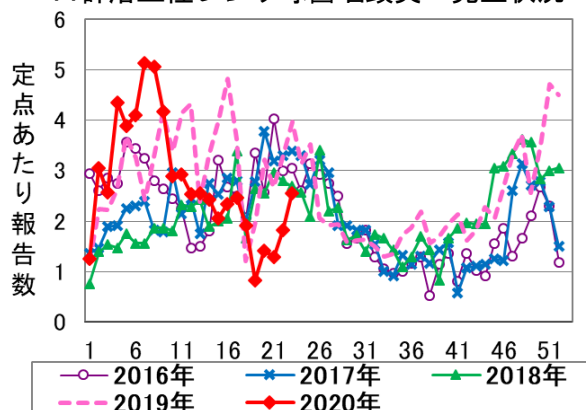


* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

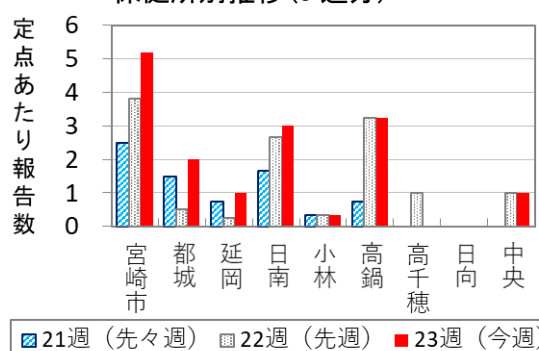
定点あたり報告数

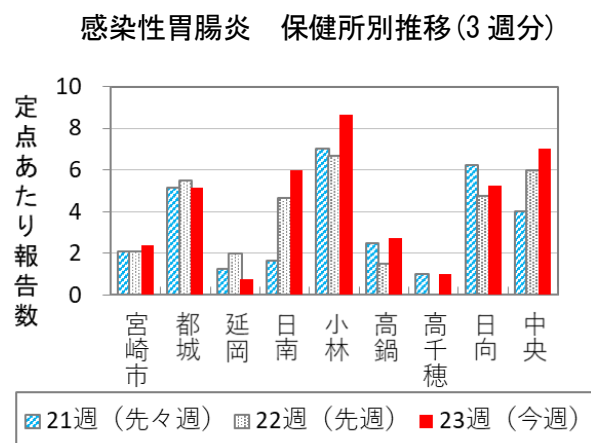
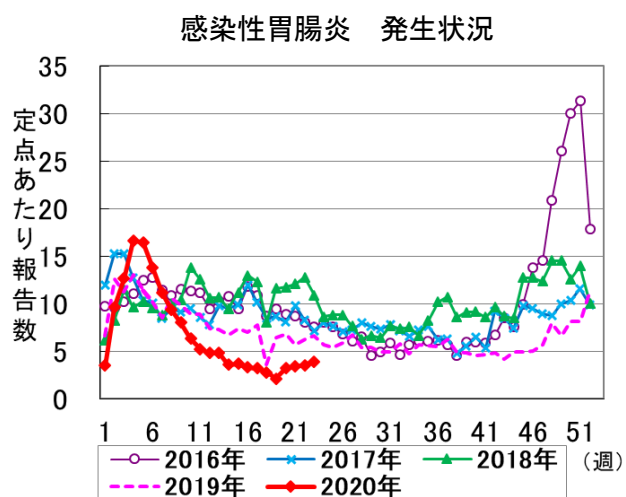
※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移 (3 週分)





★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	水痘(1.0)
日向	なし
中央	水痘(2.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

・水痘(2)

＊流行注意報レベル基準値＊

・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年6月9日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	0～4歳	女	2020.5.18	発熱(38.8℃)、胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2020.5.26
<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4:i:1,2)	10歳代	男	2020.5.26	発熱(39.3℃)、水様性下痢	便	2020.6.2
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	30歳代	女	2020.5.30	無症状	便	2020.6.5

★ウイルス 報告なし。

全国 2020 年第 22 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 22 週）

1類感染症	報告なし	
2類感染症	結核	266 例
3類感染症	細菌性赤痢	6 例
4類感染症	E 型肝炎	4 例
	日本紅斑熱	11 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例
	急性脳炎	5 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	12 例
	播種性クリプトコックス症	1 例
	百日咳	6 例
	腸管出血性大腸菌感染症	31 例
	A 型肝炎	1 例
	レジオネラ症	32 例
	ウイルス性肝炎	1 例
	クリプトスポリジウム症	1 例
	後天性免疫不全症候群	12 例
	水痘（入院例）	2 例
	破傷風	4 例
	つつが虫病	8 例
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	24 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	梅毒	75 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS））へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 113%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、感染性胃腸炎、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘及び流行性耳下腺炎であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 1,958 人(0.6)で前週比 117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (3.1)の約 0.2 倍であった。鳥取県(2.3)、岩手県、鹿児島県(1.9)からの報告が多く、年齢群別では 3～5 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 4,115 人(1.3)で前週比 114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (6.7)の約 0.2 倍であった。宮崎県(3.5)、鹿児島県(3.1)からの報告が多く、年齢群別では 1～3 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
RSウイルス 感染症	報告数		1				1					
	定点当り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
咽頭結膜熱	報告数	22	15	4	4	1		1	4	1		
	定点当り	0.6	0.4	0.4	0.7	0.3	0.0	0.3	1.0	1.0	0.0	0.0
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	66	92	52	12	4	9	1	13			1
	定点当り	1.8	2.6	5.2	2.0	1.0	3.0	0.3	3.3	0.0	0.0	1.0
感染性胃腸炎	報告数	127	142	24	31	3	18	26	11	1	21	7
	定点当り	3.5	3.9	2.4	5.2	0.8	6.0	8.7	2.8	1.0	5.3	7.0
水 痘	報告数	13	9		3		1	2		1		2
	定点当り	0.4	0.3	0.0	0.5	0.0	0.3	0.7	0.0	1.0	0.0	2.0
手足口病	報告数	5	5	2		1	1				1	
	定点当り	0.1	0.1	0.2	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
伝染性紅斑	報告数	3	2	1				1				
	定点当り	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
突発性発しん	報告数	43	46	13	6	10	5	4	4	1	3	
	定点当り	1.2	1.3	1.3	1.0	2.5	1.7	1.3	1.0	1.0	0.8	0.0
ヘルパンギーナ	報告数		2						1		1	
	定点当り	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
流行性耳下腺炎	報告数	5	3				1	1			1	
	定点当り	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
流行性角結膜炎	報告数											
	定点当り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～23週)

2類感染症	結核	74例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例(1)	A型肝炎	2例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	梅毒	5例	播種性クリプトコックス症	1例
	百日咳	37例		
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	17例		
			重症熱性血小板減少症候群	3例
			レジオネラ症	4例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			後天性免疫不全症候群	1例
			水痘(入院例)	5例
			破傷風	2例

()内は今週届出分、再掲